多くの生き物がすむ大和川

大和川の動物植物

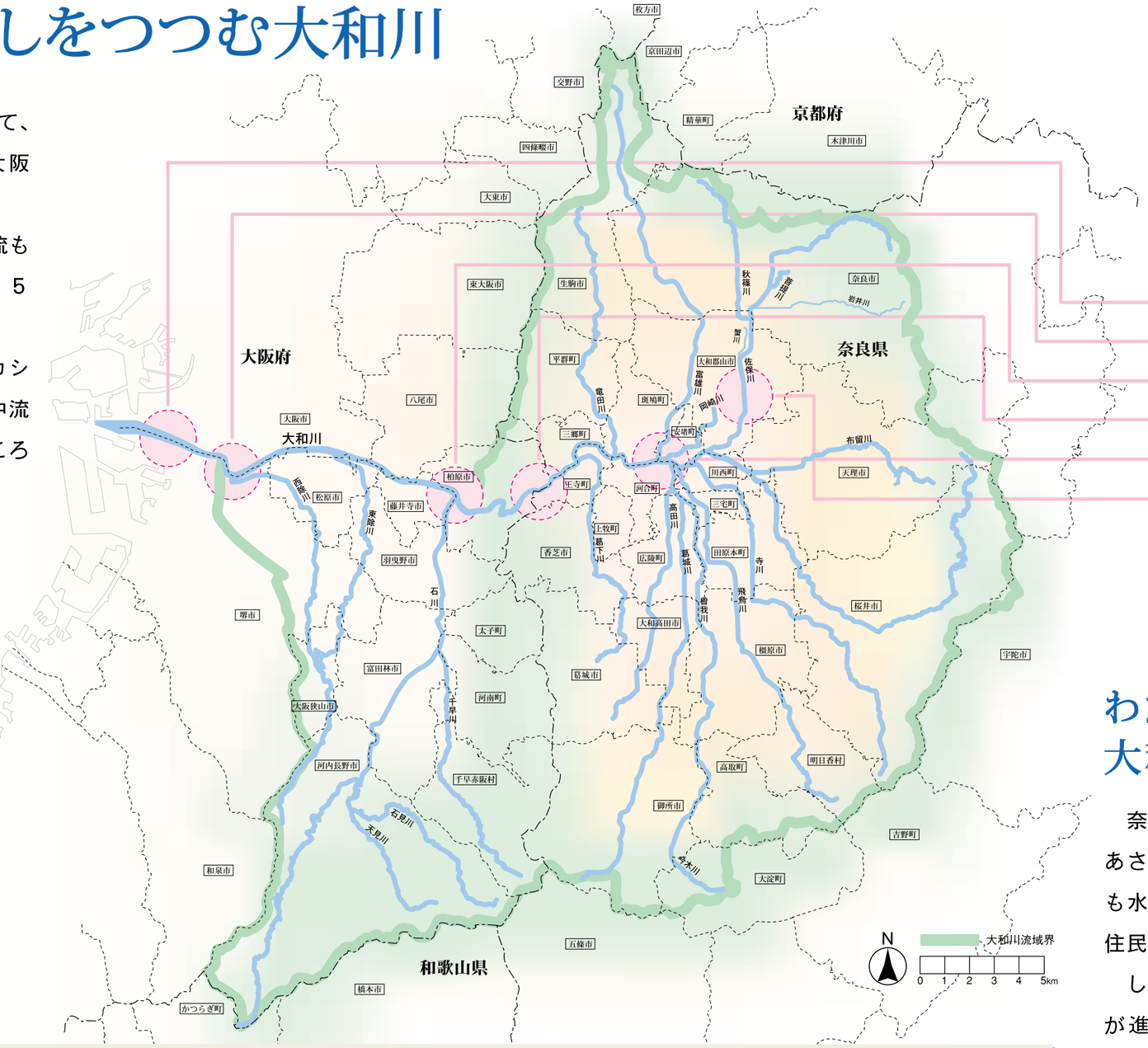
目指せ! 大和川の再生
Cプロジェクト計画

215万人の暮らしをつつむ大和川

大和川は奈良県の笠置山地を源として、生駒山地と金剛山地の間を通って大阪平野に流れています。

大和川の長さは６８キロメートル、支流も多く流域には３８の市町村があり、２１５万人が生活している一級河川です。

上流は「生きた化石」といわれるムカシトンボも見られる清らかな水ですが、中流は川の底が浅くて砂が多く、ところどころに深い淵があります。



目　次

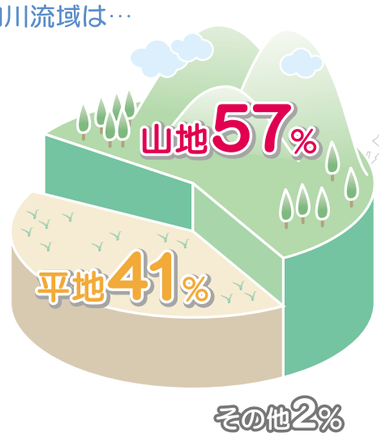
大和川のすがた　01
大和川の水環境　03

6 周辺の環境

阪堺大橋周辺　05
ＪＲ阪和線鉄橋周辺　07
石川合流部周辺　09
亀の瀬橋周辺　11
御幸大橋周辺　13
井筒橋周辺　15

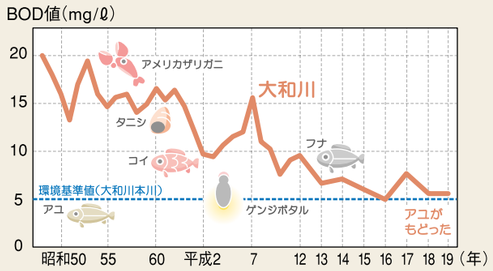
大和川にすむ生き物を公開!!　17

大和川流域は…



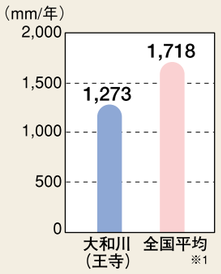
大和川の水質（BOD値）の変化

※BODとは微生物が水をきれいにするために必要な酸素の量。
この数値が高いとよごれているとわかります。
※大和川の水質はBOD75%値の本川8地点平均



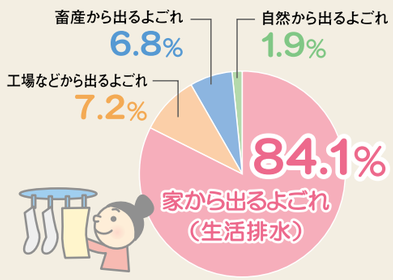
年間降雨量

昭和46年～平成12年の年間降雨量の平均値
※1 出典「日本の水資源」国土交通省水資源部

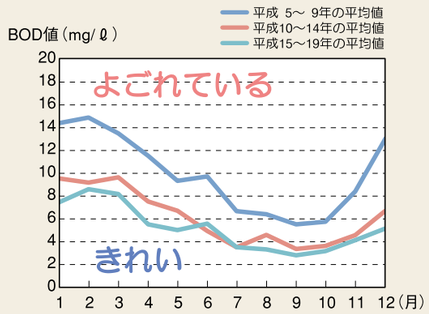


大和川を汚す原因

（BOD汚濁排出負荷量の割合）（平成14年）



大和川の月別水質（BOD）の変化



わたしたちの生活排水が大和川を汚しています

奈良と大阪にまたがる大和川は、おじいさん、おばあさんが子どもだった昭和の初めころは、中下流でも水あそびやアユ釣りができる清らかな川で、流域住民の遊びとくつろぎの場でした。

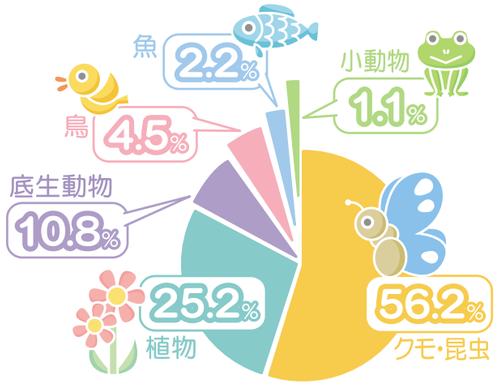
しかし昭和４０年代にはいってから、流域の都市化が進み人口が急激に増えたため、大和川の汚濁が進み全国の一級河川の中でも汚い川になってしまいました。

その後、下水道の整備などにより、大和川の汚れは改善してきました。

でも、大和川の汚れは流域住民の生活排水が８割を占め、他の河川よりも流域の降雨量が少ないため、汚れがあまり薄まらないことも原因です。水の量が少ない冬期は汚れがひどくなる傾向にあります。

いろいろな生き物が多い大和川

中流から下流にかけて、魚：５２種、植物：５９２種、鳥：１０６種、ネズミ・ヘビ・カエル等の小動物：２５種、クモ・昆虫：１３２１種、底生動物：２５４種の合計２３５０種のさまざまな生き物がすんでいます。



阪堺大橋周辺

淡水と海水が混ざる汽水域。川幅は広いが、ほとんどがコンクリートで固めた人工護岸のため、河原はありません。

周辺は工場や住宅地で、堤防を大きくして阪神高速道路を通す計画が進められています。散歩をする人が多くいます。

河口から約2.5キロの地点
下流をのぞむ

- カイツブリ、カワウ、ウミネコなど水鳥が多い。
- 汽水・海水魚であるメナダ、ボラなどが多く生息。

石川合流部周辺

柏原堰堤から大和川の上流になります。

植物は種類が多く、高茎草木群落や砂礫地があり、広々とした河原では多くの人がつりや水遊びなどをしています。

河口から約18.2キロの地点
下流をのぞむ

- ギンブナ・モツゴやオイカワなど純淡水魚が多く、汽水・海水魚はみられない。
- カワムツなど中流～上流を好む種も多い。
- 柏原えんていを遡上しようとするアユもみられる。
- カヤネズミがいる。
- イカルチドリやオオヨシキリが多い。
- 草地にすむ昆虫類が多い。

JR阪和線鉄橋周辺

河原が広く、水の流れはゆるやかで川底は浅いが、水質はよくありません。高水敷は公園や裸地が多いため、散歩する人が多くいます。

河口から約5.8キロの地点
下流をのぞむ

- ギンブナ・モツゴやオイカワなどの純淡水魚とともに、メナダ、ボラなどの汽水・海水魚もみられる。
- カイツブリ類はみられなくなる。サギ・カモ類が多い。

大和川にすんでいるさまざまな生き物

魚

大和川は、近年、水質が徐々に改善し、多くの種類の魚がみられる様になりました。

また、平成19年のアユ遡上調査では、アユの産卵場所も確認されました。

植物

水につかる浅瀬や湿ったところが少ないため、アシ原など水際の植物群落もあまりみられません。

セイタカヨシが多いのが特徴です。

鳥

河辺にはサギ類がいるほか、河口部ではカイツブリやカモメのなかまがいます。

また、人の住むところにはドバトやカラスが多くみられます。

小動物（両生類）

河川敷の浅い水たまり（止水域）などではヌマガエルが、深い水たまりには外来種のウシガエルがすんでいます。

小動物（は虫類）

在来種のイシガメ・クサガメが生息していますが、外来種のミシシッピーアカミミガメが全域で多くみられます。

小動物（ほ乳類）

水辺を好むイタチのなかまが大和川全域で多く、コウベモグラやアカネズミ・カヤネズミがすんでいます。

クモ・昆虫

コガネムシやスズムシ・マツムシ・キリギリスの鳴く虫など、多くの昆虫がすんでいます。

底生動物

大和川にすむ底生動物にはスジエビ・テナガエビ・アメンボなどがいます。水が汚れていることを示すイトミミズ類やユスリカ類などもいます。これは大和川のほとんどが砂底で礫が少なく変化のない水底であることが影響しています。

亀の瀬橋周辺

山が近く川幅が狭い渓谷で、瀬と淵が連続しているため平坦な陸地はありません。

亀の瀬と呼ばれる渓谷地区では、大規模な地すべりの対策が地中深いところで行なわれています。

河口から約24.0キロの地点
上流をのぞむ

- 流速が速く礫質の場所に生息する底生動物がいた。
- 樹林性の鳥類や昆虫類が多い。

井筒橋周辺

川幅が狭く比較的生物の種類が少ないが、つりをする人がみられます。

井筒橋から上流をのぞむ

- 生物の種数が少ない。
- 水域性の鳥類が種類も数も少なくない。

御幸大橋周辺

中流域の河川の形をしているところで、堤内地には水田や池などがあり草地が広がっているので、大和川でもっとも多くの種類の鳥類がいます。

周辺は住宅地や田畑が多く、佐保川や曽我川が流れこんでいます。

河口から約33.0キロの地点
下流をのぞむ

- 鳥類の種類がもっとも多く、多様である。
- 草地性の種や水田・池沼でみられる昆虫が多い。

阪堺大橋周辺（はんかいおおはししゅうへん）

鳥

ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ウミネコ、コアジサシなどの水鳥が多くみられます。

カワウ
下流・大きい川の河口部でみられるが近年増えている

キンクロハジロ
湖沼や大きい川のよどみにすみ、9月～翌4月までみられる

カンムリカイツブリ
10月～翌4月までみられる冬鳥で、もぐって魚をとる

魚

汽水域であるため、メナダ、セスジボラ、スズキ、マハゼなどの汽水・海水魚が多くみられます。

また、流れがゆるやかであるため、ギンブナ、モツゴなどの止水域からゆるやかな流れを好む純淡水魚も多くみられます。

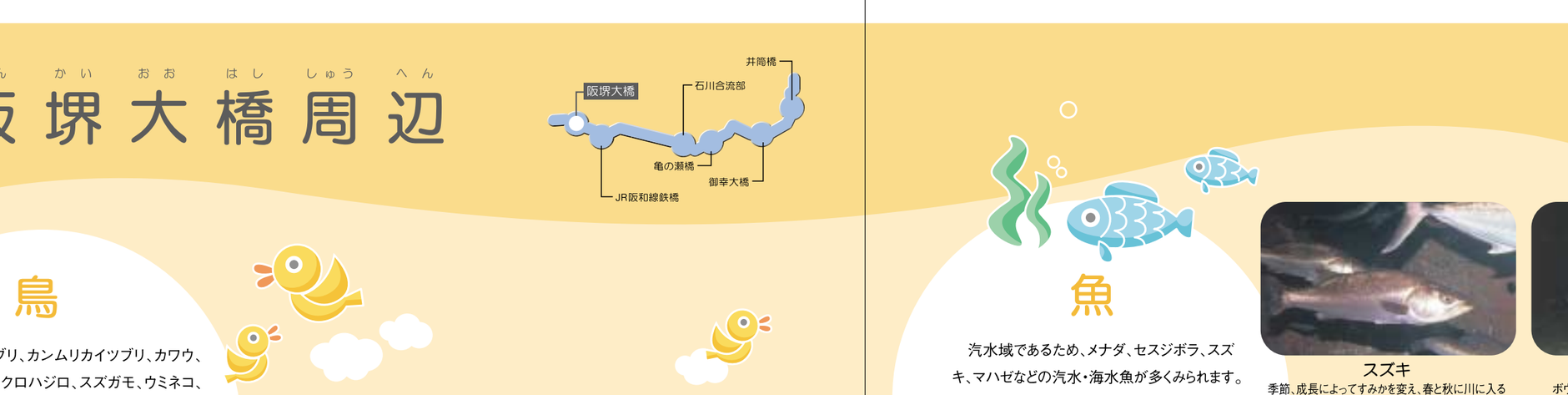
カダヤシ、ブルーギルなどの特定外来種もいます。

スズキ
季節、成長によってすみかを変え、春と秋に川に入る

カダヤシ
ボウフラをよく食べることからこの名がつく

ブルーギル
北米が原産の外来魚。各地で大繁殖している

モツゴ
中・下流の流れがゆるやかなところにすむ



底生動物

ユスリカなどの昆虫類やミズミミズ科、イトミミズ科などのミミズ類が多くいます。

これらは比較的河床（かしょう）がこまかい砂泥から泥底で流れのゆるい場所にみられ、汚い水質にも強い種類です。

オオイヌタデ
水辺にはえ、晩夏～秋に花が咲く

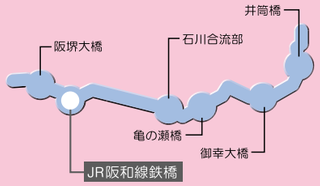
植物

セイタカヨシやカナムグラが生態護岸（ごがん）の上に見られ、水際にオオイヌタデが、堤防の土手にはセイバンモロコシがみられます。

カナムグラ
帰化植物でホップのなかま。山すそや水辺に群生する

チガヤ
田んぼのあぜ道にはえ、5月に白い穂を出す

JR阪和線鉄橋周辺



アカメヤナギ
水辺にはえ、春に花が咲き、5月に白い綿毛を飛ばす

アレチウリ
ウリのなかまで、岸辺一面をおおうように
はえる特定外来種です。

植物

おもに土手には定期的に草刈りされる場所を好むチガヤやセイバンモロコシの群落がみられます。

また、河川敷公園のある平らな場所などでメヒシバ、エノコログサのなかま、ヨモギなどが多くみられます。水面と河川敷公園のある平らな場所の間にはアカメヤナギなどの樹木が点在しているほか、クズ、アレチウリ、カナムグラ、ヤブガラシといったツル植物やセイタカヨシが、水際にはおもに湿った場所を好むオオイヌタデ、オオクサキビがみられます。

ヨモギ
あぜや草地に群生し、
夏～秋に花が咲く

鳥

水鳥であるカルガモ、ユリカモメ、セグロカモメ、砂地や砂礫地を利用するコチドリ、シロチドリ、川にすむカワセミ、浅い水辺で餌をとるセグロセキレイ、草原にすむノビタキ、林にすむメジロなどがいます。

ユリカモメ
海岸や河口にすみ、9月～翌5月ごろみられる

カワセミ
湖・池・川の水辺にすみ、一年中みられる

メジロ
常緑広葉樹林にすみ、特に西南日本に多く分布

クモ・昆虫

水際になだらかな地形があるため、コミズギワカメムシ、キイロセマルコミズギワゴミムシなどがみられます。

また、ヤマトヒメメダカカッコウムシ、ミナミカマバエなど、水際の植物に頼って生活する種もいます。

汚れた水たまりでもみられるハイイロゲンゴロウや、芝生の上でよくみられるという帰化種のミスジキイロテントウのほか、河川敷や草地で普通にみられる種が多くすんでいます。

小動物
（両生類、は虫類、ほ乳類）

トノサマガエルや水深のある止水域を好むウシガエル、浅い池沼やゆるやかな川にすむクサガメ、川近くの湿地にすむ外来種のミシシッピーアカミミガメが見られます。

開けた場所を好むシマヘビ、草地にすむコウベモグラ・アカネズミ、高茎の草地にすむカヤネズミ、水辺を好むイタチなどがすんでいます。

トノサマガエル
池や川のほか水田でもよくみられ、オス・メスで体色が異なる

底生動物

ユスリカ科の昆虫類、ミズミミズ科、イトミミズ科などのミミズ類が中心です。これらの種は川底がこまかい砂泥から泥底の流れのゆるい場所にすむ種です。汚い水にも強い種類のコカゲロウ属がいました。

また、水中に植物のある流れのゆるいところを好むアオモンイトトンボ、浅いゆるい流れの環境でみられるコフキトンボ、シオカラトンボなどのトンボ類、ヒメモノアラガイなどもいます。

ボ　ラ
早春に汽水域に集まり4歳まで海と川の間を回遊

マハゼ
汽水域や内湾の泥底部にすみ底生動物が主食

カマツカ
中・下流の砂れき底にすみ5～6月ごろ産卵する

魚

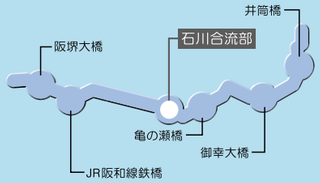
潮止堰の上流であるため、淡水域になっていますが、メナダ、ボラ、マハゼなど一部の汽水魚はここでもみられます。

全体的に川の流れがゆるやかなので、モツゴ、ギンブナ、メダカなどの止水域からゆるやかな流れを好む純淡水魚が多くいます。

一部の流れの速い瀬では、オイカワ、カマツカなどの流水域を好む純淡水魚もみられます。

カダヤシ、ブルーギルなどの特定外来種もみられます。

石川合流部周辺



小動物
（両生類、は虫類、ほ乳類）

河川敷の水たまりなどを好むヌマガエル、水深がある止水域を好むウシガエル、浅い池沼やゆるやかな川にすむクサガメ、川近くの湿地にすむ外来種のミシシッピーアカミミガメがみられます。

堤・草原・やぶなどにすむカナヘビ、人家の近い水辺に多くみられるアブラコウモリ、草地にすむコウベモグラ・アカネズミ、高茎の草地にすむカヤネズミ、水辺を好むイタチなどがいます。

カナヘビ
やぶや草むら、人家の庭でもみられるトカゲのなかま

ヌマガエル
繁殖期は5～8月で水田などの浅い止水域に産卵

底生動物

川底が比較的細かい砂泥～泥で、流れのゆるい場所にみられるユスリカ科やコカゲロウ属などの昆虫類、ミズミミズ科、イトミミズ科などのミミズ類が多くいます。

また、水中に植物のある流れのゆるい環境にみられるクロイトトンボ、ギンヤンマ、植物の多い浅い湿地や水田でみられるモートンイトトンボ、砂泥から砂礫質の流水環境でみられるコシボソヤンマ、浅いゆるい流れの環境でみられるシオカラトンボなど、ほかの区間と比較してトンボ類が多いのが特徴です。これは水草や砂礫底などさまざまな環境があるためです。

魚

堰の上流でもあるためここから上流は汽水の影響がなくなり、汽水・海水魚がみられなくなります。

この区間ではアユ、カワムツなど中上流を好む種もいます。

オオクチバス、ブルーギルなどの特定外来種のほか、汚い水に強いコイなどもいます。

アユ
中流域にすみ、なわばりを作って日中に活動する

オオクチバス
北米原産の外来魚で止水域の水草周辺を好む

植物

オオカナダモ、イトモというような水中で生育する種、ミゾコウジュ、タニソバ、ヒメガマなどの定期的に水につかる水際に生育する種、セキショウといった水路の岩場などに生育する種、ミヤコグサ、ツルボ、クサボケなどの定期的に草刈りがされる明るい草地でみられる種などが確認されています。

ミヤコグサ
田んぼのあぜ道などにはえる。春～初夏

ツルボ
田んぼのあぜ道などにはえる。6月ごろ花が咲く

鳥

水鳥のゴイサギ、オナガガモ、コアジサシ、広い川原や農耕地などを生息範囲の一部とするハヤブサも確認されています。

開けた草地などで昆虫をとらえて食べるコシアカツバメ、タヒバリ、ノビタキ、ヨシなどの背の高い植物群落を広い範囲で必要とするオオヨシキリもみられます。

オオヨシキリ
湿地の草むらにすみ5、6月さかんにさえずる

ゴイサギ
夕方から川や池で魚をとる夜行性のサギのなかま

オナガガモ
全国に分布し、湖沼・大きな河川でみられる

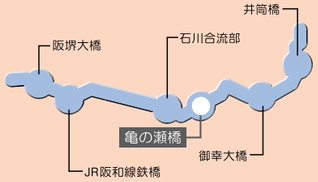
ノビタキ
草原鳥で雪が増えると川べりによく現れる

クモ・昆虫

水際になだらかな地形があるため、ハマベハサミムシやヨツモンミズギワコメツキがみられ、そのような湿地にイネ科植物の群落が成立した場合にみられるババヒメテントウがいます。

また、草地が広く分布しているため、草間にアシナガグモ科のクモ類が巣を張っているほか、カモガヤなどに寄生するフタスジメクラガメや、イネ科植物に寄生するヒゲナガカメムシなどのカメムシ類やバッタ類も多くみられます。

亀の瀬橋周辺



魚

勾配がややきつく流れが速くなっているため、オイカワ、カマツカなどの流水域を好む純淡水魚やカワヨシノボリ、カワムツなど中上流域を好む純淡水魚や、コイ、モツゴなど止水からゆるやかな流れを好む純淡水魚も多くみられます。

外来魚は他の区間に比べて少ないです。

カワムツ
淵の流れのゆるやかなところでみられる

コ イ
中・下流の淵にすみ底生動物などを食べる

鳥

キセキレイ、ハクセキレイなど浅い水辺に飛ぶ小さな虫を食べる種、モズ、シジュウカラ、アオジなど樹林性の鳥類も多くいます。

シジュウカラ
森だけでなく、林や市街地でもみられる

アオジ
落葉広葉樹林の鳥で秋に南へ渡る

キセキレイ
清流のゆたかな川べりにすむ

植 物

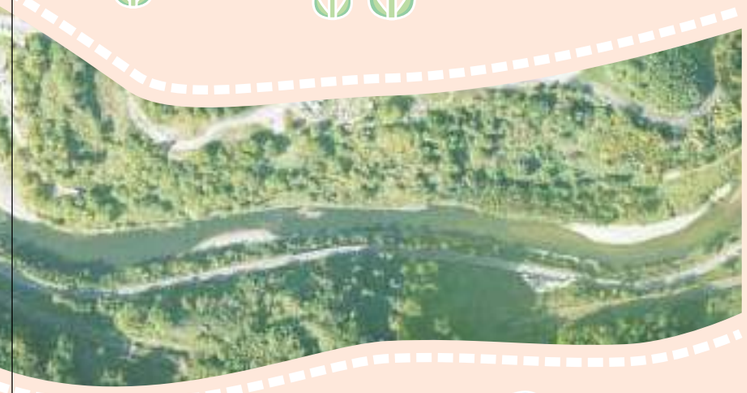
ヌルデ、ハゼ、ウツギ、ヨウシュヤマゴボウなどの崩壊地に特徴的な種がみられます。

カワラハンノキ、ネコヤナギなどの河畔林を特徴づける種、コナラ、アカマツ、ノガリヤス、ノコンギクといった森林を特徴づける種などがみられます。

ノコンギク
一般的に「野菊」と呼ばれる。晩夏～秋に咲く

ヨウシュヤマゴボウ
荒れ地や山地でみられ、春～秋に紫の花が咲く

ネコヤナギ
川岸にはえ、早春に白い毛に覆われた花が咲く



クモ・昆虫

河川と山が接しているため、クモ類では樹上に巣を張るゴミグモやヤマトゴミグモ、ジョロウグモなどがみられます。

また、カトリヤンマのような樹林性のトンボや樹林に生息するモリチャバネゴキブリ、エダナナフシ、ヒラタクワガタなど、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ、クロアゲハ、ルリタテハなどもいます。

ニイニイゼミ
初夏から8月の半ばにみられ鳴き声は小さい

小 動 物
（両生類、は虫類、ほ乳類）

低い木や草の上で生活するアマガエル、河川敷の水たまりなどを好むヌマガエル、浅い池沼やゆるやかな川にすむクサガメ、川近くの湿地にすむ外来種のミシシッピーアカミミガメがいます。

やぶなどにすむカナヘビ、水辺を好むイタチなどがいます。

ニホンイタチ
山間部や自然の多い平野部の水辺や田畑にくらす

ミシシッピーアカミミガメ
中・下流域にすみ5月～8月繁殖する

底生動物

河床が比較的こまかい砂泥から泥底で、流れのゆるい場所にみられる、ユスリカの昆虫類や、ミズミミズ科、イトミミズ科などのミミズ類が多くみられました。

水中に植物のある流れのゆるい環境にみられるクロイトトンボ、アオモンイトトンボ、浅いゆるい流れの環境でみられるシオカラトンボ、ヒメモノアラガイ、サカマキガイなどもいます。

また、カワニナ、サワガニがおり、底質が礫や砂礫質で水の流れが速いところがあると考えられます。

御幸大橋周辺

鳥

水辺にみられるアマサギ、チュウサギ、マガモ、バン、猛禽類のオオタカ、草地で良くみられるキジ、砂泥地で餌をとるケリ、ハマシギ、タカブシギ、タヒバリ、雑木林やヤブにすむカシラダカなどがみられます。

大和川の中で鳥類の種類が一番多く、さまざまな鳥がみられます。

マガモ
大きい川や湖にすみ、
冬には沿岸の海上でもみられる

カシラダカ
おもに地上にすみ、秋に北方から来て
冬を越す渡り鳥

キ　ジ
低地でみられる地上性の鳥で雄は鮮やかな色

クモ・昆虫

草地にみられるヒロバネカンタン、ドウガネサルハムシ、タデサルゾウムシなどと、樹林でみられます。

ジグモ、コガネグモ、コムラサキなどの草地性の種と樹林性の種が両方ともみられます。

その他、シオカラトンボ、エンマコオロギ、クサヒバリ、スズムシ、ヒロバネカンタン、オンブバッタ、アメンボ、ツチカメムシ、モンキチョウなどもいます。

モンキチョウ
草原・畑周辺で3～11月にみられる

シオカラトンボ
最も普通にみられるトンボで湿地などにすむ

魚

流れがゆるやかなため、ギンブナ、モツゴ、メダカなど止水からゆるやかな流れを好む純淡水魚が多くいます。

流れが速い瀬もあるため、オイカワ、カマツカなどの流水域を好む純淡水魚もいますが、タイリクバラタナゴ、ブルーギルなどの外来魚もみられます。

メダカ
全国に分布し、水面近くで群れてえさを食べる

ギンブナ
川の中・下流にすみ底生動物を食べる

ツルヨシ
河原に生育し、株の根元から長いつるを伸ばす

セイタカアワダチソウ
荒れ地に生い茂り、春～秋に黄色い花が咲く

植　物

堤防の土手は定期的に草刈りされる場所を好むセイバンモロコシやチガヤなどがみられます。

水際には湿った場所を好むオオイヌタデ、オオクサキビ、ヨシ、ツルヨシなどが、また高水敷にはおもにメヒシバ、エノコログサ、セイタカアワダチソウ、オギなどが多くみられます。

底生動物

川底が比較的細かい砂泥～泥で、流れのゆるい場所にみられるユスリカの昆虫類や、ミズミミズ科、イトミミズ科などのミミズ類が多くいます。

また、水中に植物のある流れのゆるい環境にみられるクロイトトンボ、アオモンイトトンボ、ハグロトンボ、ギンヤンマ、浅い緩い流れのあるところでみられるシオカラトンボ、ヒメモノアラガイ、モノアラガイ、サカマキガイなどもいます。

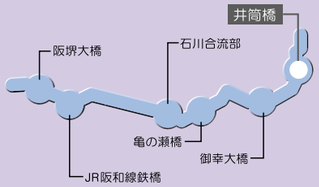
小動物
（両生類、は虫類、ほ乳類）

河川敷の水たまりなどを好むヌマガエル、水深のある止水域を好むウシガエル、浅い池沼やゆるやかな川にすむクサガメ、川近くの湿地にすむ外来種のミシシッピーアカミミガメがみられます。

草地にすむコウベモグラ・ノウサギ・アカネズミ、水辺を好むイタチなどがいます。

アカネズミ
森林に生息し秋から春にかけて1、2回子を産む

井筒橋周辺



魚

流れがゆるやかなため、ギンブナ、モツゴなど止水からゆるやかな流れを好む純淡水魚も多くみられます。

流れが速い瀬もあるため、オイカワ、カマツカなどの流水域を好む純淡水魚もみられます。

タイリクバラタナゴ、ブルーギルなどの外来種もいます。

タイリクバラタナゴ
下流のよどみや浅い池にすむ外来魚

オイカワ
中・下流にすみ、ほぼ年中みられる

底生動物

川底が比較的細かい砂泥～泥で、流れのゆるいところにみられるユスリカの昆虫類や、ミズミミズ科、イトミミズ科などのミミズ類が多くいます。

また、水中に植物のある流れのゆるい環境にみられるクロイトトンボ、セスジイトトンボ、アオモンイトトンボ、コヤマトンボ、ギンヤンマや浅いゆるい流れの環境でみられるシオカラトンボ、ヒメモノアラガイ、サカマキガイなどもいます。

植物

堤防の土手には定期的に草刈りされるところを好むセイバンモロコシが群落をつくり、砂州などの水際には湿った場所を好むオオイヌタデやオオクサキビがみられます。

高水敷にはヨモギやメヒシバ、エノコログサ、クズ、セイタカヨシ、メダケがみられます。

クズ
堤防などでみられ、ほかの草の上に生い茂る

アキノエノコログサ
「ねこじゃらし」として知られ、夏～秋に花が咲く

鳥

砂泥地で餌をとるケリ、タシギ、飛んでいる昆虫をとるツバメ、コシアカツバメがみられます。

浅い水辺にいるキセキレイ、ヨシなどの背の高い草に巣をつくるオオヨシキリ、オオジュリン、林にすむヒヨドリ、人の手の入っている環境にいるムクドリなどがみられます。

ヒヨドリ
木の多い村落や都市に多く、樹上で暮らす

ムクドリ
人家周辺・樹木の多いところに年中すむ

クモ・昆虫

草地にみられるカンタン、ミイデラゴミムシ、ダンダラテントウ、ハナアブなどがみられます。

ヤナギ類で見られるヤナギハムシ、湿った裸地でみられるコハンミョウなどもいます。

このほか、セスジイトトンボ、ギンヤンマ、ウスバキトンボ、ノシメトンボ、オオカマキリ、キリギリス、イトアメンボ、ヒメゲンゴロウ、セイヨウミツバチ、ハナアブ、キアゲハ、ベニシジミ、キタテハ、モンシロチョウなどがみられます。

オオカマキリ
最もよくみられるカマキリで主食は昆虫

キアゲハ
サナギで冬を越し、夏に発生する大型のチョウ

ノシメトンボ
夏から秋にかけてみられる。「のしめ模様」が名の由来

小動物
（両生類、は虫類、ほ乳類）

低い木や草の上で生活するアマガエル、河川敷の水たまりなどを好むヌマガエル、水深のある止水域を好むウシガエル、浅い池沼やゆるやかな川にすむクサガメ、川近くの湿地にすむ外来種のミシシッピーアカミミガメがみられます。

堤・草原・やぶなどにすむカナヘビ、人家の近い水辺に多くみられるアブラコウモリ、草地にすむコウベモグラ、キツネ、水辺を好むイタチなどがみられます。

コウベモグラ
年中みられ、草地の地中で昼夜問わず活動する

クサガメ
危険を感じると、臭いにおいを出す

大和川にすむ生き物を公開!!

大阪府RDBによる指定区分

「大阪府における保護上重要な野生生物」(2000年)

Ⅰ 絶滅危惧Ⅰ類　注 要注目種
Ⅱ 絶滅危惧Ⅱ類　不 情報不足
準 準絶滅危惧

奈良県RLによる指定区分

大切にしたい奈良県の野生動植物(奈良県版レッドデータブック 脊椎動物編)(2006年)
大切にしたい奈良県の野生動植物(植物・昆虫類レッドリスト)(2007年)

ア 絶滅寸前種　ウ 希少種　オ 注目種
イ 絶滅危惧種　エ 情報不足　カ 郷土種

環境省による指定区分

環境省RDB　改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 ーレッドデータブックー
・哺乳類(2002年)　・昆虫類(2006年)
・両生類・爬虫類(2000年)　・クモ形類・甲殻類等(2006年)
・鳥類(2002年)　・陸・淡水産貝類(2005年)
・汽水魚類・淡水魚類(2003年)　・植物Ⅰ(維管束植物)(2000年)

環境省RDL　環境省版レッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)
・哺乳類(2007年)　・汽水魚類(2007年)　・貝類(2007年)
・両生類(2006年)　・淡水魚類(2007年)　・植物(維管束植物)(2007年)
・爬虫類(2006年)　・昆虫類(2007年)
・鳥類(2006年)　・その他の無脊椎動物(クモ形類、菌類)(2006年)

EN 絶滅危惧種ⅠB類　VU 絶滅危惧種Ⅱ類　NT 準絶滅危惧　DD 情報不足DD

種の保存法による指定区分

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1993年)

内 国内希少野生動植物種
際 国際希少野生動植物種

魚・・・49種

ブラックアロワナ
(DD) ウナギ
コイ
ニシキゴイ
ヒゴイ
(EN) ゲンゴロウブナ
ギンブナ
オオキンブナ
キンギョ
タイリクバラタナゴ
(VU)(注) ハス
オイカワ
(注) カワムツ
(Ⅰ)(ウ) ヌマムツ
(不)(ウ) アブラハヤ
(注) ウグイ
モツゴ
(Ⅱ)(ウ) ムギツク
(注) タモロコ
(注) カマツカ
ニゴイ
(注) コウライモロコ
(Ⅱ) ドジョウ
(準)(ウ) ギギ
ナマズ
(ア) アユ
カダヤシ
グッピー
(VU)(Ⅱ)(ウ) メダカ
(Ⅱ)(ウ) ヒメダカ
タウナギ
スズキ
シマイサキ
ブルーギル
オオクチバス(ブラックバス)
ボラ
セスジボラ
メナダ
(注) ドンコ
(不) カワアナゴ
(不) ウロハゼ
マハゼ
アベハゼ
(Ⅰ) ゴクラクハゼ
トウヨシノボリ
(ウ) カワヨシノボリ
ヌマチチブ
(不) チチブ
カムルチー

植物・・・589種

スギナ
イヌドクサ
カニクサ
イワヒメワラビ
ワラビ
ホラシノブ
シノブ
ハコネシダ
タチシノブ
オオバノイノモトソウ
イノモトソウ
トラノオシダ
コバノヒノキシダ
オニヤブソテツ
ヤブソテツ
ヤマヤブソテツ
ベニシダ
クマワラビ
オクマワラビ
ヒメイタチシダ
ヤマイタチシダ
イノデ
ミゾシダ
ホシダ
ハシゴシダ
ヤワラシダ
ホソバイヌワラビ
シケシダ
クサソテツ
ノキシノブ
(VU)(Ⅱ)(イ) オオアカウキクサ
アカマツ
クロマツ
イヌガヤ
ヤマモモ
オニグルミ
シナサワグルミ
セイヨウハコヤナギ
シダレヤナギ
アカメヤナギ
ジャヤナギ
カワヤナギ
ネコヤナギ
オオタチヤナギ
タチヤナギ
カワラハンノキ
クヌギ
ナラガシワ
アラカシ
コナラ
ムクノキ
エノキ
アキニレ
ケヤキ
クワクサ
イチジク
イヌビワ
カナムグラ
トウグワ
ヤマグワ
ヤブマオ
カラムシ
ナンバンカラムシ
メヤブマオ
ミズ
アオミズ
カナビキソウ
シャクチリソバ
サクラタデ
ヤナギタデ
オオイヌタデ
イヌタデ
タニソバ
イシミカワ
ハナタデ
ボントクタデ
サナエタデ
ママコノシリヌグイ
ミゾソバ
ミチヤナギ
イタドリ
スイバ
アレチギシギシ
ナガバギシギシ
ギシギシ
エゾノギシギシ
ヨウシュヤマゴボウ
オシロイバナ
クルマバザクロソウ
マツバボタン
スベリヒユ
ヒメマツバボタン
オランダミミナグサ
カワラナデシコ
ツメクサ
ハマツメクサ
ノミノフスマ
ウシハコベ
コハコベ
ミドリハコベ
シロザ
アカザ
アリタソウ
ケアリタソウ
コアカザ
ヒカゲイノコズチ
ヒナタイノコズチ
ホソバツルノゲイトウ
ツルノゲイトウ
ヒメアオゲイトウ
イヌビユ
ホソアオゲイトウ
アオゲイトウ
ハリビユ
アオビユ
ケイトウ
サネカズラ
クスノキ
ヤブニッケイ
クロモジ
タブノキ
シロダモ
ボタンヅル
センニンソウ
ケキツネノボタン
ウマノアシガタ
タガラシ
キツネノボタン
アキカラマツ
ナンテン
アケビ
ミツバアケビ
(ウ) ゴヨウアケビ
アオツヅラフジ
ドクダミ
ウマノスズクサ
ヤブツバキ
ヒサカキ
チャノキ
キンシバイ
ムラサキケマン
セイヨウフウチョウソウ
セイヨウカラシナ
ナズナ
タネツケバナ
マメグンバイナズナ
オランダガラシ
(NT)(不)(ウ) コイヌガラシ
イヌガラシ
スカシタゴボウ
オカタイトゴメ
コモチマンネングサ
メキシコマンネングサ
ツルマンネングサ
ヤマネコノメソウ
ウツギ
キンミズヒキ
(エ) クサボケ
ヘビイチゴ
ヤブヘビイチゴ
(エ) ビワ
オランダイチゴ
ヤエヤマブキ
オオヘビイチゴ
オヘビイチゴ
カマツカ
ヤマザクラ
ウメ
カスミザクラ
ソメイヨシノ
タチバナモドキ
シャリンバイ
ノイバラ
ミヤコイバラ
テリハノイバラ
クマイチゴ
クサイチゴ
ナワシロイチゴ
ワレモコウ
コデマリ
(Ⅱ)(ウ) ユキヤナギ
クサネム
アメリカクサネム
ネムノキ
イタチハギ
ヤブマメ
ゲンゲ
アレチヌスビトハギ
ヌスビトハギ
ツルマメ
コマツナギ
マルバヤハズソウ
ヤハズソウ
ヤマハギ
メドハギ
マルバハギ
ネコハギ
ミヤコグサ
クズ
ハリエンジュ
アメリカツノクサネム
クララ
コメツブツメクサ
タチオランダゲンゲ
ムラサキツメクサ
シロツメクサ
ヤハズエンドウ
クサフジ
ナヨクサフジ
スズメノエンドウ
フジ
イモカタバミ
カタバミ
ウスアカカタバミ
オッタチカタバミ
アメリカフウロ
エノキグサ
オオニシキソウ
ニシキソウ
コニシキソウ
アカメガシワ
コミカンソウ
ナンキンハゼ
シンジュ
センダン
ヌルデ
ハゼノキ
ヤマウルシ
フウセンカズラ
ホウセンカ
ツリフネソウ
ナナミノキ
イヌツゲ
ウメモドキ
ツルウメモドキ
コマユミ
マサキ
マユミ
ノブドウ
ヤブガラシ
ツタ
ホルトノキ
ムクゲ
ウサギアオイ
ヤノネボンテンカ
アオギリ
(エ) ナツグミ
トウグミ
ナワシログミ
アキグミ
タチツボスミレ
コスミレ
スミレ
(ウ) ゴキヅル
スイカ
スズメウリ
アレチウリ
カラスウリ
ホソバヒメミソハギ
(注)(ウ) ヒメミソハギ
キカシグサ
ヒシ
アメリカミズキンバイ
チョウジタデ
アメリカミズユキノシタ
メマツヨイグサ
オオマツヨイグサ
コマツヨイグサ
ユウゲショウ
マツヨイグサ
オオフサモ
ホザキノフサモ
アオキ
ウド
クマノミズキ
タラノキ
ヤツデ
キヅタ
マツバゼリ
ノチドメ
チドメグサ
ヒメチドメ
セリ
ヤブジラミ
オヤブジラミ
マンリョウ
ヤブコウジ
コナスビ
カキノキ
レンギョウ
マルバアオダモ
ネズミモチ
トウネズミモチ
イボタノキ
ベニバナセンブリ
キョウチクトウ
テイカカズラ
(イ) イケマ
ガガイモ
オオフタバムグラ
メリケンムグラ
ヤエムグラ
カワラマツバ
クチナシ
ヘクソカズラ
アカネ
コヒルガオ
ヒルガオ
(注) ハマヒルガオ
ネナシカズラ
アメリカネナシカズラ
マルバルコウ
アメリカアサガオ
マルバアメリカアサガオ
マメアサガオ
マルバアサガオ
ホシアサガオ
キュウリグサ
(Ⅱ)(エ) コムラサキ
ムラサキシキブ
クサギ
ヤナギハナガサ
アレチハナガサ
ダキバアレチハナガサ
ミズハコベ
クルマバナ
トウバナ
イヌトウバナ
カキドオシ
ホトケノザ
オドリコソウ
ヒメオドリコソウ
(ウ) メハジキ
ハッカ
メグサハッカ
オランダハッカ
ヒメジソ
イヌコウジュ
エゴマ
シソ
(NT)(注)(ウ) ミゾコウジュ
(ウ) イヌゴマ
ニガクサ
クコ
トマト
センナリホオズキ
アメリカイヌホオズキ
ワルナスビ
ヒヨドリジョウゴ
イヌホオズキ
テリミノイヌホオズキ
ウキアゼナ
ウリクサ
タケトアゼナ
アメリカアゼナ
アゼトウガラシ
アゼナ
トキワハゼ
ビロードモウズイカ
オオカワヂシャ
タチイヌノフグリ
ムシクサ
オオイヌノフグリ
(NT)(注)(ウ) カワヂシャ
キリ
キツネノマゴ
オオバコ
ヘラオオバコ
タチオオバコ
スイカズラ
ソクズ
ニワトコ
ノヂシャ
ミゾカクシ
キキョウソウ
ブタクサ
オオブタクサ
クソニンジン
カワラヨモギ
ヨモギ
イナカギク
ノコンギク
オオホウキギク
ヒロハホウキギク
ホウキギク
コバノセンダングサ
センダングサ
アメリカセンダングサ
コセンダングサ
トキンソウ
ノアザミ
アレチノギク
オオアレチノギク
ベニバナボロギク
アメリカタカサブロウ
タカサブロウ
ヒメムカシヨモギ
ハルジオン
ハキダメギク
ハハコグサ
チチコグサ
チチコグサモドキ
ウスベニチチコグサ
イヌキクイモ
キクイモ
ブタナ
オオヂシバリ
ニガナ
イワニガナ
ユウガギク
ヨメナ
アキノノゲシ
ホソバアキノノゲシ
トゲチシャ
コオニタビラコ
ヤブタビラコ
コウゾリナ
セイタカアワダチソウ
オニノゲシ
ノゲシ
ヒメジョオン
ヘラバヒメジョオン
シロバナタンポポ
カンサイタンポポ
セイヨウタンポポ
オオオナモミ
ヤクシソウ
オニタビラコ
クワイ
オオカナダモ
(NT)(Ⅰ)(ウ) イトモ
ノビル
ニラ
ヤブカンゾウ
ヤブラン
ジャノヒゲ
ナガバジャノヒゲ
ツルボ
ヒガンバナ
タマスダレ
ナガイモ
ニガカシュウ
ヤマノイモ
ヒメドコロ
オニドコロ
ホテイアオイ
コナギ
キショウブ
ニワゼキショウ
ヒメヒオウギズイセン
ハナビゼキショウ
イ
コウガイゼキショウ
ホソイ
クサイ
ココメイ
スズメノヤリ
マルバツユクサ
ツユクサ
イボクサ
ヤブミョウガ
ノハカタカラクサ
アオカモジグサ
カモジグサ
コヌカグサ
スズメノテッポウ
メリケンカルカヤ
コブナグサ
トダシバ
カラスムギ
マカラスムギ
ミノゴメ
カズノコグサ
ヒメコバンソウ
イヌムギ
スズメノチャヒキ
ノガリヤス
ジュズダマ
ギョウギシバ
カモガヤ
メヒシバ
コメヒシバ
アキメヒシバ
イヌビエ
ケイヌビエ
タイヌビエ
ヒメイヌビエ
オヒシバ
スズメガヤ
シナダレスズメガヤ
カゼクサ
ニワホコリ
オオニワホコリ
コスズメガヤ
オニウシノケグサ
トボシガラ
ヒロハノウシノケグサ
ウシノシッペイ
シラゲガヤ
チガヤ
チゴザサ
サヤヌカグサ
アゼガヤ
ネズミムギ
ホソムギ
ネズミホソムギ
アシボソ
トキワススキ
オギ
ススキ
ケチヂミザサ
コチヂミザサ
ヌカキビ
オオクサキビ
シマスズメノヒエ
キシュウスズメノヒエ
スズメノヒエ
タチスズメノヒエ
チカラシバ
クサヨシ
ヨシ
ツルヨシ
セイタカヨシ
マダケ
ハチク
モウソウチク
ネザサ
ケネザサ
メダケ
ミゾイチゴツナギ
スズメノカタビラ
コイチゴツナギ
ヒエガエリ
ヌメリグサ
アキノエノコログサ
コツブキンエノコロ
キンエノコロ
エノコログサ
ムラサキエノコロ
オオエノコロ
セイバンモロコシ
ヒメモロコシ
ネズミノオ
カニツリグサ
ナギナタガヤ
マコモ
シバ
コウライシバ
シュロ
セキショウ
サトイモ
アオウキクサ
ウキクサ
ヒメガマ
ガマ
(ウ) ハタガヤ
ナルコスゲ
アゼナルコ
カサスゲ
シラスゲ
ヒゴクサ
ナキリスゲ
アオゴウソ
(準) フサナキリスゲ
チャガヤツリ
アイダクグ
ヒメクグ
クグガヤツリ
イヌクグ
タマガヤツリ
ホソミキンガヤツリ
メリケンガヤツリ
ヒメムツオレガヤツリ
アゼガヤツリ
コアゼガヤツリ
ココメガヤツリ
カヤツリグサ
アオガヤツリ
(注)(ウ) オオシロガヤツリ
キンガヤツリ
ハマスゲ
カワラスガナ
ミズガヤツリ
テンツキ
ヒデリコ
アオテンツキ
ヒンジガヤツリ
ウキヤガラ
ネジバナ

鳥・・・106種

カイツブリ
ハジロカイツブリ
(注)(ウ) カンムリカイツブリ
(注) カワウ
(不) ウミウ
(注) ゴイサギ
(準)(エ) ササゴイ
アマサギ
ダイサギ
(NT)(注)(エ) チュウサギ
コサギ
アオサギ
マガモ
カルガモ
コガモ
(ウ) ヨシガモ
オカヨシガモ
ヒドリガモ
アメリカヒドリ
オナガガモ
ハシビロガモ
アヒル
ホシハジロ
キンクロハジロ
スズガモ
ホオジロガモ
ウミアイサ
(NT)(注)(イ) ミサゴ
トビ
(NT)(内)(Ⅱ)(ウ) オオタカ
(NT)(注)(ウ) ハイタカ
(注)(ウ) ノスリ
ハイイロチュウヒ
(VU)(内)(注)(ウ) ハヤブサ
(準)(ウ) チョウゲンボウ
コジュケイ
キジ
バン
(Ⅱ)(ウ) タマシギ
ミヤコドリ
(Ⅱ) コチドリ
(Ⅱ)(ウ) イカルチドリ
(Ⅱ) シロチドリ
(準) メダイチドリ
(準) ダイゼン
(注) ケリ
(準) トウネン
(準)(ウ) ハマシギ
(準) オバシギ
(準)(ウ) クサシギ
(準)(ウ) タカブシギ
(準) キアシシギ
(準)(ウ) イソシギ
(準) オオソリハシシギ
(準) チュウシャクシギ
(準)(ウ) タシギ
ユリカモメ
セグロカモメ
オオセグロカモメ
カモメ
ウミネコ
(VU)(際)(Ⅱ)(イ) コアジサシ
ドバト
キジバト
(準) ホトトギス
(準) カワセミ
コゲラ
ヒバリ
ツバメ
コシアカツバメ
キセキレイ
ハクセキレイ
セグロセキレイ
(ウ) ビンズイ
タヒバリ
ヒヨドリ
モズ
ジョウビタキ
ノビタキ
(ウ) イソヒヨドリ
(ウ) アカハラ
シロハラ
ツグミ
ウグイス
(準) オオヨシキリ
(準)(ウ) セッカ
(エ) サメビタキ
(不)(ウ) コサメビタキ
エナガ
シジュウカラ
メジロ
ホオジロ
(準)(イ) ホオアカ
(ア) カシラダカ
(イ) アオジ
(注)(ウ) オオジュリン
アトリ
カワラヒワ
ハギマシコ
(カ) イカル
シメ
スズメ
コムクドリ
ムクドリ
ハシボソガラス
ハシブトガラス

小動物・・・25種

両生類
アマガエル
トノサマガエル
ヌマガエル
ウシガエル

爬虫類
クサガメ
(注)(イ) イシガメ
ミシシッピアカミミガメ
(DD)(不)(エ) スッポン
トカゲ
カナヘビ
シマヘビ
(ウ) ヤマカガシ

哺乳類
コウベモグラ
アブラコウモリ
アカネズミ
(注)(ウ) カヤネズミ
ハツカネズミ
ドブネズミ
アライグマ
イヌ
タヌキ
(準) キツネ
テン
(不) イタチ
ネコ

クモ・昆虫・・・1199種

ジグモ
(NT) ワスレナグモ
(NT) キノボリトタテグモ
ヤマトガケジグモ
ヒナハグモ
ウズグモ
ユウレイグモ
ミヤグモ
クサグモ
コクサグモ
ハツリグモ
キザハシオニグモ
ヌサオニグモ
アオオニグモ
オニグモ
コガネグモ
ナガコガネグモ
コガタコガネグモ
ギンメッキゴミグモ
ギンナガゴミグモ
ヤマトゴミグモ
キジロゴミグモ
ゴミグモ
マルゴミグモ
トガリオニグモ
コガネグモダマシ
ドヨウオニグモ
ワキグロサツマノミダマシ
コゲチャオニグモ
ヤマシロオニグモ
サツマノミダマシ
ヘリジロオニグモ
ズグロオニグモ
ハタケグモ
クロケシグモ
ザラアカムネグモ
タテヤマテナガグモ
ハラジロムナキグモ
デーニッツサラグモ
カワリノコギリグモ
ナニワナンキングモ
ノコギリヒザグモ
ハナサラグモ
ニセアカムネグモ
アリマケズネグモ
クロナンキングモ
ツノケシグモ
ツメケシグモ
チビアカサラグモ
イマダテテングヌカグモ
ズナガヌカグモ
ヨツボシサラグモ
セスジアカムネグモ
オオサカアカムネグモ
テングヌカグモ
コテングヌカグモ
エビチャコモリグモ
フジイコモリグモ
ヒノマルコモリグモ
ハラクロコモリグモ
ウヅキコモリグモ
ハリゲコモリグモ
キクヅキコモリグモ
カイゾクコモリグモ
イモコモリグモ
チビコモリグモ
キバラコモリグモ
ナミコモリグモ
アライトコモリグモ
チビホラヒメグモ
ササグモ
スジブトハシリグモ
イオウイロハシリグモ
アズマキシダグモ
ヒメアシナガグモ
チュウガタシロカネグモ
コシロカネグモ
キララシロカネグモ
ジョロウグモ
トガリアシナガグモ
ハラビロアシナガグモ
キヌアシナガグモ
ヤサガタアシナガグモ
アシナガグモ
ウロコアシナガグモ
シコクアシナガグモ
エゾアシナガグモ
カグヤヒメグモ
ヒザブトヒメグモ
オオヒメグモ
アシブトヒメグモ
シロカネイソウロウグモ
トビジロイソウロウグモ
オナガグモ
チリイソウロウグモ
ヤホシサヤヒメグモ
キベリミジングモ
カニミジングモ
ヒシガタグモ
ハンゲツオスナキグモ
スネグロオチバヒメグモ
ムネグロヒメグモ
ムナボシヒメグモ
ヒラタグモ
ヤマトコマチグモ
ヤハズフクログモ
ヒメフクログモ
ムナアカフクログモ
イタチグモ
ネコグモ
シボグモ
カワラメキリグモ
メキリグモ
クロケムリグモ
アシダカグモ
コアシダカグモ
キンイロエビグモ
キタエビグモ
ヤドカリグモ
シャコグモ
ヤマジハエトリ
ネコハエトリ
マミジロハエトリ
マミクロハエトリ
ウデブトハエトリ
キレワハエトリ
ジャバラハエトリ
ヨダンハエトリ
ヤハズハエトリ
オスクロハエトリ
シラヒゲハエトリ
ヤサアリグモ
アリグモ
クワガタアリグモ
ムロテハエトリ(マガネアサヒハエトリ)
メガネアサヒハエトリ
デーニッツハエトリ
チャスジハエトリ
ミスジハエトリ
カラスハエトリ
ヒメカラスハエトリ
アオオビハエトリ
シラホシコゲチャハエトリ
コハナグモ
アシナガカニグモ
クマダハナグモ
ハナグモ
アズチグモ
ヤミイロカニグモ
アズマカニグモ
チシマカニグモ
オオヤミイロカニグモ
イシノミ
セスジイトトンボ
(ウ) ムスジイトトンボ
アジアイトトンボ
アオモンイトトンボ
モノサシトンボ
ハグロトンボ
クロスジギンヤンマ
ギンヤンマ
カトリヤンマ
オニヤンマ
ショウジョウトンボ
コフキトンボ
ハラビロトンボ
シオカラトンボ
オオシオカラトンボ
ウスバキトンボ
チョウトンボ
コノシメトンボ
ナツアカネ
アキアカネ
ノシメトンボ
マイコアカネ
リスアカネ
モリチャバネゴキブリ
ツチゴキブリ
ハラビロカマキリ
コカマキリ
チョウセンカマキリ
オオカマキリ
ハマベハサミムシ
キアシハサミムシ
ヒゲジロハサミムシ
オオハサミムシ
コロギス
ウスイロササキリ
オナガササキリ
ホシササキリ
ササキリ
セスジツユムシ
クビキリギス
キリギリス
クダマキモドキ
ツユムシ
クサキリ
ヤブキリ
ケラ
マダラスズ
シバスズ
スズムシ
ハラオカメコオロギ
ミツカドコオロギ
モリオカメコオロギ
クマコオロギ
カンタン
ヒロバネカンタン
クサヒバリ
ヤチスズ
クマスズムシ
エンマコオロギ
アオマツムシ
ツヅレサセコオロギ
マツムシ
カネタタキ
アリツカコオロギ
ショウリョウバッタ
マダラバッタ
ヒナバッタ
(ウ) ショウリョウバッタモドキ
トノサマバッタ
クルマバッタモドキ
ハネナガイナゴ
コバネイナゴ
ヤマトフキバッタ
ツチイナゴ
(準) セグロバッタ
ツマグロイナゴモドキ
イボバッタ
オンブバッタ
トゲヒシバッタ
ニセハネナガヒシバッタ
ハネナガヒシバッタ
ハラヒシバッタ
ヤセヒシバッタ
ノミバッタ
エダナナフシ
スジコガシラウンカ
ゴマフウンカ
ナガラガワウンカ
ヒメトビウンカ
ホソミドリウンカ
セジロウンカ
タマガワナガウンカ
シロオビウンカ
アカハネナガウンカ
アオバハゴロモ
トビイロハゴロモ
ベッコウハゴロモ
クマゼミ
アブラゼミ
ツクツクボウシ
ミンミンゼミ
ニイニイゼミ
マルツノゼミ
トビイロツノゼミ
シロオビアワフキ
ハマベアワフキ
トバヨコバイ
カンキツヒメヨコバイ
フタテンヒメヨコバイ
スズキヒメヨコバイ
クサビヨコバイ
カスリヨコバイ
タケナガヨコバイ
ヒメアオズキンヨコバイ
アオズキンヨコバイ
ツマグロオオヨコバイ
オオヨコバイ
ミドリヒメヨコバイ
ヨツモンヒメヨコバイ
シロヒメヨコバイ
フタスジトガリヨコバイ
ウスイロヒロヨコバイ
ヒシモンヨコバイ
マエジロオオヨコバイ
コミミズク
ホシヒメヨコバイ
フタテンヨコバイ
ヨツテンヨコバイ
ツマグロヨコバイ
クロヒラタヨコバイ
ヒトツメヨコバイ
クロサジヨコバイ
イネマダラヨコバイ
シロセスジヨコバイ
ホシヨコバイ
ベニキジラミ
ニホンケクダアブラムシ
ヨコヅナサシガメ
アカシマサシガメ
トビイロサシガメ
クロサシガメ
クロモンサシガメ
トゲサシガメ
アシナガサシガメ
シマサシガメ
ヒメトビサシガメ
ヤニサシガメ
オオウチワグンバイ
ウチワグンバイ
ヤブガラシグンバイ
キクグンバイ
ヤナギグンバイ
トサカグンバイ
ヒメグンバイ
ヤサハナカメムシ
ナミヒメハナカメムシ
ウスモンカスミカメ
ナカグロカスミカメ
ブチヒゲクロカスミカメ
ツマグロアオカスミカメ
ヨツボシカスミカメ
ヒメセダカカスミカメ
ケヤキツヤカスミカメ
オオクロトビカスミカメ
マキバカスミカメ
マツヒョウタンカスミカメ
ヒョウタンカスミカメ
クロヒョウタンカスミカメ
オオクロセダカカスミカメ
アカスジカスミカメ
ウスモンミドリカスミカメ
アカヒゲホソミドリカスミカメ
ヒメホソミドリカスミカメ
ハネナガマキバサシガメ
ヒメホシカメムシ
オオホシカメムシ
フタモンホシカメムシ
クロホシカメムシ
クモヘリカメムシ
ホソヘリカメムシ
ホオズキカメムシ
オオクモヘリカメムシ
ホソハリカメムシ
ハリカメムシ
ヒメトゲヘリカメムシ
ホシハラビロヘリカメムシ
ツマキヘリカメムシ
キバラヘリカメムシ
スカシヒメヘリカメムシ
アカヒメヘリカメムシ
ケブカヒメヘリカメムシ
ブチヒゲヘリカメムシ
ブチヒゲヒメイトカメムシ
イトカメムシ
ヒメヒラタナガカメムシ
ヒメコバネナガカメムシ
コバネナガカメムシ
マツヒラタナガカメムシ
ヒメオオメナガカメムシ
ヒメマダラナガカメムシ
サビヒョウタンナガカメムシ
ホソコバネナガカメムシ
オオモンシロナガカメムシ
ヒメナガカメムシ
ヒゲナガカメムシ
クロスジヒゲナガカメムシ
キベリヒョウタンナガカメムシ
オオメナガカメムシ
コバネヒョウタンナガカメムシ
ジュウジナガカメムシ
ヒメジュウジナガカメムシ
メダカナガカメムシ
エサキモンキツノカメムシ
ミツボシツチカメムシ
ヒメツヤツチカメムシ
ヒメツチカメムシ
ツチカメムシ
マルツチカメムシ
ノコギリカメムシ
ウズラカメムシ
アヤナミカメムシ
シロヘリクチブトカメムシ
ブチヒゲカメムシ
ハナダカカメムシ
ナガメ
トゲシラホシカメムシ
ムラサキシラホシカメムシ
マルシラホシカメムシ
シラホシカメムシ
アカスジカメムシ
クサギカメムシ
ツマジロカメムシ
アオクサカメムシ
ミナミアオカメムシ
イチモンジカメムシ
チャバネアオカメムシ
オオクロカメムシ
イネクロカメムシ
タマカメムシ
マルカメムシ
チャイロカメムシ
ヘラクヌギカメムシ
アメンボ
ヒメアメンボ
(VU)(ウ) イトアメンボ
(ウ) ヒメイトアメンボ
ケシカタビロアメンボ
ホルバートケシカタビロアメンボ
コミズギワカメムシ
ウスイロミズギワカメムシ
チビミズムシ
コマツモムシ
クモンクサカゲロウ
ヨツボシクサカゲロウ
ニッポンクサカゲロウ
アカスジクサカゲロウ
クロヒゲフタモンクサカゲロウ
シロタエヒメカゲロウ
ホソバヒメカゲロウ
チャバネヒメカゲロウ
ミドリヒメカゲロウ
ホシウスバカゲロウ
ウスバカゲロウ
ヤマトシリアゲ
ムネカクトビケラ
マツイヒメトビケラ
コガタシマトビケラ
ホソオビヒゲナガ
タデキボシホソガ
チャミノガ
アトモンヒロズコガ
モトキメンコガ
ベニモントガリホソガ
イモキバガ
ヤマモモキバガ
カクバネヒゲナガキバガ
ムモンヒロバキバガ
ミツボシキバガ
シロスジカバマルハキバガ
カレハヒゲマルハキバガ
コナガ
グミツマジロヒメハマキ
ウスアトキハマキ
フタモントガリバヒメハマキ
シロテントガリバヒメハマキ
ヘリオビヒメハマキ
ヨモギネムシガ
スギヒメハマキ
ヨツスジヒメシンクイ
コスソキモンヒメハマキ
コホソスジハマキ
ヒロヘリアオイラガ
クロシタアオイラガ
キスジホソマダラ
ホタルガ
ダイミョウセセリ
イチモンジセセリ
チャバネセセリ
オオチャバネセセリ
キマダラセセリ
コチャバネセセリ
テングチョウ
(ウ) ミズイロオナガシジミ
ルリシジミ
ウラギンシジミ
ツバメシジミ
(Ⅱ)(イ) ウラナミアカシジミ
ウラナミシジミ
ベニシジミ
ヤマトシジミ
コムラサキ
ツマグロヒョウモン
ヒメアカタテハ
ゴマダラチョウ
ルリタテハ(本土亜種)
アサマイチモンジ
コミスジ
キタテハ
アカタテハ
ジャコウアゲハ
アオスジアゲハ
モンキアゲハ
キアゲハ
クロアゲハ
ナミアゲハ
モンキチョウ
キタキチョウ
スジグロチョウ
モンシロチョウ
クロヒカゲ
ジャノメチョウ
コジャノメ
ヒメジャノメ
サトキマダラヒカゲ
ヒメウラナミジャノメ
ツトガ
タイワンウスキノメイガ
アカウスグロノメイガ
ニカメイガ
コブノメイガ
ナカグロツトガ
ワタヘリクロノメイガ
マダラミズメイガ
ヒメマダラミズメイガ
アヤナミノメイガ
モンキクロノメイガ
マメノメイガ
チビツトガ
シロテンキノメイガ
サツマキノメイガ
ワモンノメイガ
アワノメイガ
ヒメシロノメイガ
シバツトガ
ベニフキノメイガ
シロオビノメイガ
チャモンノメイガ
クロモンキノメイガ
フタスジツヅリガ
サンカクマダラメイガ
アカマダラメイガ
マドガ
ミスジコナフエダシャク
ウラベニエダシャク
オオウスモンキヒメシャク
チビキヒメシャク
コガタヒメアオシャク
ナミガタウスキアオシャク
ウスキクロテンヒメシャク
マエキヒメシャク
ナミスジチビヒメシャク
ナガサキヒメシャク
ハグルマエダシャク
コベニスジヒメシャク
ウスベニスジヒメシャク
フトジマナミシャク
トビスジトガリナミシャク
ウスタビガ
オオスカシバ
ホシホウジャク
ホウジャク
シモフリスズメ
カノコガ
キシタホソバ
キマエホソバ
シラナミクロアツバ
ナカジロシタバ
タマナヤガ
クロテンカバアツバ
シロテンウスグロヨトウ
ヒメサビスジヨトウ
(準) コシロシタバ
マメキシタバ
キマダラコヤガ
フタキボシアツバ
フタテンヒメヨトウ
ツメクサガ
クロスジアツバ
トビスジアツバ
オオシラナミアツバ
ソトウスグロアツバ
キシタアツバ
タイワンキシタアツバ
カキバトモエ
ヒメネジロコヤガ
ヨトウガ
オオウンモンクチバ
アトジロキヨトウ
クサシロキヨトウ
フタオビコヤガ
クロスジシロコブガ
ヒメエグリバ
キボシアツバ
ニセタマナヤガ
ギンモンアカヨトウ
マエホシヨトウ
テンクロアツバ
クロスジヒメアツバ
スジキリヨトウ
シロイチモジヨトウ
ハスモンヨトウ
クシヒゲスジキリヨトウ
シロスジアオヨトウ
ナシケンモン
ハイイロキシタヤガ
マエキヤガ
ウラジロアツバ
コマダラヒメガガンボ
イツモンヒメガガンボ
ヤチガガンボ
アカケヨソイカ
ハダカユスリカ
フチグロユスリカ
ヒシモンユスリカ
ウスイロユスリカ
セスジユスリカ
セボシヒメユスリカ
フタスジツヤユスリカ
ナカオビツヤユスリカ
ミツオビツヤユスリカ
メスグロユスリカ
ハイイロユスリカ
コガタエリユスリカ
ミナミユスリカ
クロツヤエリユスリカ
ウスイロハモンユスリカ
ヤマトハモンユスリカ
ミヤコムモンユスリカ
ウスモンユスリカ
ヤモンユスリカ
オオケバネユスリカ
ヤハズカユスリカ
クロバヌマユスリカ
ビロウドエリユスリカ
カスリモンユスリカ
オオヤマチビユスリカ
ヒトスジシマカ
ニセアシブトケバエ
ハグロケバエ
キバラトゲナシミズアブ
トゲナシミズアブ
アメリカミズアブ
ヒメネグロミズアブ
ハラキンミズアブ
コウカアブ
ミズアブ
アオメアブ
クリバネマガリケムシヒキ
シロズヒメムシヒキ
シオヤアブ
スキバツリアブ
アシナガキンバエ
マダラアシナガバエ
オビヒラタアブ
ヨコジマオオヒラタアブ
ホソヒラタアブ
タテジマクロハナアブ
シマハナアブ
ハナアブ
ナミホシヒラタアブ
アシブトハナアブ
トゲヒメヒラタアブ
ホソツヤヒラタアブ
ホシツヤヒラタアブ
エゾコヒラタアブ
シママメヒラタアブ
キアシマメヒラタアブ
ノヒラマメヒラタアブ
オオハナアブ
ホソヒメヒラタアブ
ヒメヒラタアブ
キタヒメヒラタアブ
スズキナガハナアブ
ルリイロナガハナアブ
ニセミギワバエ
クロメマトイ
ヒョウモンショウジョウバエ
ルリセダカショウジョウバエ
コフキヒメショウジョウバエ
ツヤカブトショウジョウバエ
トビクチミギワバエ
イネミギワバエ
ミナミカマバエ
シモフリシマバエ
ヤブクロシマバエ
ムネアカマダラバエ
ヒゲナガヤチバエ
ヒトテンツヤホソバエ
ヒラヤマアミメケブカミバエ
カボチャミバエ
クロオビハナバエ
タネバエ
ケブカクロバエ
ホホグロオビキンバエ
トウキョウキンバエ
コガネキンバエ
キンバエ
ヒロズキンバエ
イトウコクロバエ
ツマグロキンバエ
イネクキイエバエ
ケヅメカトリバエ
トウヨウカトリバエ
ホソカトリバエ
トリオニクバエ
シリグロニクバエ
センチニクバエ
ヒメニクバエ
ナミニクバエ
コニクバエ
ヒメフンバエ
ブランコヤドリバエ
マルボシヒラタヤドリバエ
オオホソクビゴミムシ
ミイデラゴミムシ
キイロチビゴモクムシ
タンゴヒラタゴミムシ
キアシマルガタゴミムシ
マルガタゴミムシ
ニセマルガタゴミムシ
オオマルガタゴミムシ
ナガマルガタゴミムシ
イグチマルガタゴミムシ
ヒメツヤマルガタゴミムシ
コマルガタゴミムシ
ニセコマルガタゴミムシ
ホシボシゴミムシ
オオホシボシゴミムシ
ゴミムシ
キベリゴモクムシ
スジミズアトキリゴミムシ
フタモンクビナガゴミムシ
アオミズギワゴミムシ
ウスモンミズギワゴミムシ
ヨツボシミズギワゴミムシ
アトモンミズギワゴミムシ
エゾカタビロオサムシ
ヤコンオサムシ
キベリアオゴミムシ
コアトワアオゴミムシ
ヒメキベリアオゴミムシ
ニセコガシラアオゴミムシ
オオアトボシアオゴミムシ
アトボシアオゴミムシ
アオゴミムシ
キボシアオゴミムシ
コガシラアオゴミムシ
アトワアオゴミムシ
マイマイカブリ
オオスナハラゴミムシ
セアカヒラタゴミムシ
キイロセマルコミズギワゴミムシ
クビボソゴミムシ
スジアオゴミムシ
オオゴモクムシ
オオズケゴモクムシ
ケウスゴモクムシ
ヒメケゴモクムシ
クロゴモクムシ
ヒラタゴモクムシ
ニセケゴモクムシ
ウスアカクロゴモクムシ
アカアシマルガタゴモクムシ
コゴモクムシ
トックリゴミムシ
オオクロナガオサムシ
クロナガオサムシ
オオゴミムシ
チャバネクビナガゴミムシ
クロオビコミズギワゴミムシ
ウスオビコミズギワゴミムシ
ウエノコミズギワゴミムシ
キアシヌレチゴミムシ
ホソチビゴミムシ
フタホシスジバネゴミムシ
オオヒラタゴミムシ
オオナガゴミムシ
トックリナガゴミムシ
コホソナガゴミムシ
コガシラナガゴミムシ
オオクロナガゴミムシ
アシミゾナガゴミムシ
ナガヒョウタンゴミムシ
ミドリマメゴモクムシ
マメゴモクムシ
ツヤマメゴモクムシ
マルガタツヤヒラタゴミムシ
キアシツヤヒラタゴミムシ
ヒメツヤヒラタゴミムシ
オオクロツヤヒラタゴミムシ
オビモンコミズギワゴミムシ
ヒラタコミズギワゴミムシ
クリイロコミズギワゴミムシ
ウスモンコミズギワゴミムシ
ヨツモンコミズギワゴミムシ
チャイロコミズギワゴミムシ
チビツヤゴモクムシ
キュウシュウツヤゴモクムシ
エリザハンミョウ
コハンミョウ
ハイイロゲンゴロウ
コシマゲンゴロウ
チビゲンゴロウ
コマルケシゲンゴロウ
ツブゲンゴロウ
シャープツブゲンゴロウ
ヒメゲンゴロウ
エグリゴミムシ
タマガムシ
トゲバゴマフガムシ
アカケシガムシ
キバネケシガムシ
セマルガムシ
チビヒラタガムシ
キベリヒラタガムシ
キイロヒラタガムシ
ルイスヒラタガムシ
シジミガムシ
ホソケシガムシ
マメガムシ
ヒメガムシ
コエンマムシ
ルリエンマムシ
アラメエンマムシ
ヒメチビシデムシ
ホソクシヒゲアリヅカムシ
ヒゲブトエクボアリヅカムシ
(準) ツシマヒラタシデムシ
(準) オオヒラタシデムシ
モモブトシデムシ
ヨツボシモンシデムシ
ムネビロハネカクシ
セスジハネカクシ
チビクロセスジハネカクシ
ルイスセスジハネカクシ
ズグロアカチビハネカクシ
アカイクビハネカクシ
チビニセユミセミゾハネカクシ
キバネニセユミセミゾハネカクシ
ニセユミセミゾハネカクシ
キバネセミゾハネカクシ
ツマグロアカバハネカクシ
ニセトガリハネカクシ
ツマグロナガハネカクシ
クロズトガリハネカクシ
スソアカヒメホソハネカクシ
アカバヒメホソハネカクシ
クロナガエハネカクシ
ナミヨコセミゾハネカクシ
クロサビイロハネカクシ
ナガサキヨツメハネカクシ
ウスアカバホソハネカクシ
アカセスジハネカクシ
ヒメアカセスジハネカクシ
キバネセスジハネカクシ
アオバアリガタハネカクシ
オオズコガシラハネカクシ
カクコガシラハネカクシ
ヘリアカバコガシラハネカクシ
クロヒメカワベハネカクシ
ホソチャバネコガシラハネカクシ
クビボソハネカクシ
ヒメクビボソハネカクシ
チビクビボソハネカクシ
クロヒゲヒメキノコハネカクシ
ニセメダカハネカクシ
ホソフタホシメダカハネカクシ
チビトガリハネカクシ
クロズシリホソハネカクシ
アカアシユミセミゾハネカクシ
ヤマトニセユミセミゾハネカクシ
ユミセミゾハネカクシ
コクワガタ
ノコギリクワガタ
ヒラタクワガタ
カブトムシ
アオドウガネ
ドウガネブイブイ
ヒメコガネ
セマダラマグソコガネ
カタモンコガネ
セマダラコガネ
チビコエンマコガネ
クロハナムグリ
クロコガネ
オオクロコガネ
コクロコガネ
アカビロウドコガネ
ビロウドコガネ
ヒメビロウドコガネ
コガネムシ
コブマルエンマコガネ
コアオハナムグリ
マメコガネ
シラホシハナムグリ
シロテンハナムグリ
アイヌケシマグソコガネ
セマルケシマグソコガネ
カナブン
コケシマグソコガネ
クロツツマグソコガネ
ホソケシマグソコガネ
ミゾツヤドロムシ
チビドロムシ
チビヒゲナガハナノミ
マルヒラタドロムシ
ヒシモンナガタマムシ
ムネアカナガタマムシ
(カ) ヤマトタマムシ
クズノチビタマムシ
サシゲチビタマムシ
ダンダラチビタマムシ
マダラチビコメツキ
サビキコリ
ホソサビキコリ
ハマベヒメサビキコリ
ヒメサビキコリ
ハマベオオヒメサビキコリ
ホソツヤケシコメツキ
クロツヤクシコメツキ
クシコメツキ
ジュウジミズギワコメツキ
ヨツモンミズギワコメツキ
クロツヤミズギワコメツキ
ヒゲコメツキ
オオハナコメツキ
チビマメコメツキ
クチブトコメツキ
ナガヒゲブトコメツキ
ミカドヒゲブトコメツキ
ジョウカイボン
セボシジョウカイ
ムネクリイロボタル
オバボタル
クロマドボタル
クロハナボタル
ヒメマルカツオブシムシ
ヤマトヒメメダカカッコウムシ
ヒロオビジョウカイモドキ
キアシオビジョウカイモドキ
ルリキオビジョウカイモドキ
ミスジキイロテントウ
シロトホシテントウ
ムーアシロホシテントウ
ヒメアカホシテントウ
ナナホシテントウ
マクガタテントウ
トホシテントウ
ニジュウヤホシテントウ
シロジュウロクホシテントウ
ナミテントウ
クリサキテントウ
(準) ジュウサンホシテントウ
ダンダラテントウ
(準) クロスジチャイロテントウ
オシマヒメテントウ
セスジヒメテントウ
ヨツボシテントウ
ヒメカメノコテントウ
クモガタテントウ
ババヒメテントウ
クロヘリヒメテントウ
カグヤヒメテントウ
クロスジヒメテントウ
コクロヒメテントウ
ヤマトヒメテントウ
クロテントウ
シロホシテントウ
ナカグロミジンムシ
ケナガセマルキスイ
キイロセマルキスイ
ナガマルキスイ
ウスバキスイ
マルガタキスイ
ヨツボシテントウダマシ
セグロツヤテントウダマシ
ヨツボシオオキスイ
キムネヒメコメツキモドキ
ヒメムクゲオオキノコ
ケシコメツキモドキ
ウスキケシマキムシ
クロオビケシマキムシ
ノコヒメマキムシ
ウスチャケシマキムシ
ヤマトケシマキムシ
ヒメマキムシ
クロハナケシキスイ
クリイロデオキスイ
ツヤチビヒラタケシキスイ
モンチビヒラタケシキスイ
アカマダラケシキスイ
コヨツボシケシキスイ
ヘリグロヒラタケシキスイ
セダカカクケシキスイ
マルキマダラケシキスイ
キイロアシナガヒメハナムシ
ミツモンセマルヒラタムシ
ホソヒラタキスイ
ヒメフタトゲホソヒラタムシ
ヤマトニセクビボソムシ
オオクチキムシ
クチキムシ
クリイロクチキムシ
ケオビアリモドキ
クロホソアリモドキ
ヒラタホソアリモドキ
コクロホソアリモドキ
タナカホソアリモドキ
ホソクビアリモドキ
ヨツボシホソアリモドキ
ハムシダマシ
コクロヒメハナノミ
モモブトカミキリモドキ
キイロカミキリモドキ
アオカミキリモドキ
コフナガタハナノミ
クロフナガタハナノミ
ナガニジゴミムシダマシ
ヤマトスナゴミムシダマシ
コスナゴミムシダマシ
ヒメスナゴミムシダマシ
スジコガシラゴミムシダマシ
キマワリ
ツヤケシハナカミキリ
ゴマダラカミキリ
キクスイモドキカミキリ
エグリトラカミキリ
ニイジマチビカミキリ
アトモンマルケシカミキリ
カタシロゴマフカミキリ
ハイイロヤハズカミキリ
ラミーカミキリ
キクスイカミキリ
トガリシロオビサビカミキリ
アトモンサビカミキリ
ベニカミキリ
アカガネサルハムシ
カミナリハムシ
コカミナリハムシ
ツブノミハムシ
アカイロマルノミハムシ
ウリハムシモドキ
ウリハムシ
クロウリハムシ
アオバネサルハムシ
チャバラマメゾウムシ
アズキマメゾウムシ
ハラグロヒメハムシ
ヒメカメノコハムシ
ヒメドウガネトビハムシ
ヒサゴトビハムシ
ヨモギハムシ
ヤナギハムシ
クロヒメツツハムシ
イモサルハムシ
バラルリツツハムシ
クロボシツツハムシ
マダラアラゲサルハムシ
キバラヒメハムシ
クワハムシ
コガタルリハムシ
クロオビカサハラハムシ
トゲアシクビボソハムシ
トホシクビボソハムシ
スゲクビボソハムシ
アカクビボソハムシ
ヤマイモハムシ
クロボシトビハムシ
フタスジヒメハムシ
ホタルハムシ
ドウガネツヤハムシ
ブタクサハムシ
ヒメキバネサルハムシ
ヨツボシハムシ
ダイコンハムシ
ホソキスジノミハムシ
キスジノミハムシ
ヤナギルリハムシ
ナトビハムシ
ニレハムシ
ドウガネサルハムシ
ツマキタマノミハムシ
キイロタマノミハムシ
ワタミヒゲナガゾウムシ
アカミヒゲナガゾウムシ
キアシチビヒゲナガゾウムシ
ケブカホソクチゾウムシ
ヒシチビゾウムシ
ホソチビゾウムシ
クロケシツブチョッキリ
カシルリオトシブミ
ヒメケブカチョッキリ
クワヒメゾウムシ
エゾヒメゾウムシ
マダラヒメゾウムシ
ダイコンサルゾウムシ
アオバネサルゾウムシ
カナムグラサルゾウムシ
コナラシギゾウムシ
コフキゾウムシ
アシナガオニゾウムシ
タデサルゾウムシ
ツメクサタコゾウムシ
アルファルファタコゾウムシ
オオタコゾウムシ
スベリビユサルゾウムシ
イネミズゾウムシ
ハスジカツオゾウムシ
カツオゾウムシ
ネジキトゲムネサルゾウムシ
ツツジトゲムネサルゾウムシ
オジロアシナガゾウムシ
カシワクチブトゾウムシ
チビヒョウタンゾウムシ
ヒレルクチブトゾウムシ
スグリゾウムシ
カナムグラヒメゾウムシ
ギシギシクチブトサルゾウムシ
タデノクチブトサルゾウムシ
カシワノミゾウムシ
ニレノミゾウムシ
サビヒョウタンゾウムシ
ケチビコフキゾウムシ
チビコフキゾウムシ
ニセキクイサビゾウムシ
コクゾウムシ
シバオサゾウムシ
ニレチュウレンジ
アカスジチュウレンジ
ルリチュウレンジ
ハグロハバチ
セグロカブラハバチ
ニホンカブラハバチ
カブラハバチ
クシヒゲハバチ
ムギハバチ
オスグロハバチ
スギナハバチ
フタホシハバチ
ムモンムネアカハバチ
カタアカスギナハバチ
ルイスアカマルハバチ
スカシバコマユバチ
クロヒゲアカコマユバチ
マダラヒメバチ
アシアカツヤアシブトコバチ
キアシブトコバチ
マダケコバチ
ノコギリハリアリ
アシナガアリ
ヤマトアシナガアリ
オオハリアリ
クロオオアリ
ウメマツオオアリ
ハリブトシリアゲアリ
キイロシリアゲアリ
テラニシシリアゲアリ
ハヤシクロヤマアリ
クロヤマアリ
シベリアカタアリ
クロニセハリアリ
ニセハリアリ
ルリアリ
トビイロケアリ
クサアリモドキ
ムネボソアリ
ハリナガムネボソアリ
クロナガアリ
クロヒメアリ
ヒメアリ
キイロヒメアリ
カドフシアリ
アメイロアリ
サクラアリ
ヒラタウロコアリ
アズマオオズアリ
オオズアリ
アミメアリ
イガウロコアリ
トフシアリ
ウロコアリ
トビイロシワアリ
ウメマツアリ
キボシトックリバチ
ミカドトックリバチ
サムライトックリバチ
ミカドドロバチ
オオカバフドロバチ
スズバチ
チビドロバチ
フタモンアシナガバチ
セグロアシナガバチ
キボシアシナガバチ
キアシナガバチ
コアシナガバチ
コガタスズメバチ
オオスズメバチ
キイロスズメバチ
ヒメスズメバチ
クロスズメバチ
オオモンクロベッコウ
ベッコウバチ
オオシロフベッコウ
アオスジベッコウ
ヒメハラナガツチバチ
キンケハラナガツチバチ
オオハラナガツチバチ
サトジガバチ
ルリジガバチ
ヒラズギングチ
コクロアナバチ
アメリカジガバチ
クロアナバチ
シロスジヒゲナガハナバチ
クマバチ
ニホンミツバチ
セイヨウミツバチ
トラマルハナバチ
アシブトムカシハナバチ
アカガネコハナバチ
ヅマルコハナバチ
オオハキリバチ
バラハキリバチ
ヒメツツハキリバチ
バラハキリバチモドキ
マイマイツツハナバチ

底生動物・・・114種

カワカイメン
ミュラーカイメンモドキ
ナミウズムシ
アメリカナミウズムシ
スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)
ヒメタニシ
(注) カワニナ
(Ⅱ) ウスイロオカチグサガイ
カワコザラガイ
(準) ヒメモノアラガイ
(DD) コシダカヒメモノアラガイ
ハブタエモノアラガイ
(NT)(注) モノアラガイ
サカマキガイ
(DD) ヒラマキミズマイマイ
(NT) ヒラマキガイモドキ
(NT)(Ⅱ) ナガオカモノアラガイ
(NT) マシジミ
エラオイミズミミズ
クロオビミズミミズ
トガリミズミミズモドキ
テングミズミミズ
エラミミズ
モトムラユリミミズ
フトゲユリミミズ
ユリミミズ
ハバヒロビル
ヌマビル
アタマビル
シマイシビル
ナミイシビル
ミズムシ
フロリダマミズヨコエビ
ニホンオカトビムシ
ミナミテナガエビ
テナガエビ
ユビナガスジエビ(フトユビスジエビ)
スジエビ
ミゾレヌマエビ
ミナミヌマエビ
アメリカザリガニ
クロベンケイガニ
モクズガニ
サワガニ
ミツオミジカオフタバコカゲロウ
サホコカゲロウ
シロハラコカゲロウ
タマリフタバカゲロウ
オオフタオカゲロウ
オオクママダラカゲロウ
シリナガマダラカゲロウ
アカマダラカゲロウ
クロイトトンボ
セスジイトトンボ
アジアイトトンボ
アオモンイトトンボ
(準)(イ) モートンイトトンボ
モノサシトンボ
ハグロトンボ
ギンヤンマ
コシボソヤンマ
(Ⅱ)(ウ) ミヤマサナエ
(準)(ウ) キイロサナエ
オナガサナエ
コオニヤンマ
コヤマトンボ
コフキトンボ
シオカラトンボ
ウスバキトンボ
アメンボ
ヒメアメンボ
(NT)(Ⅱ) エサキアメンボ
ヒメイトアメンボ
マダラミズカメムシ
ヘリグロミズカメムシ
ミズカメムシ
ケシカタビロアメンボ
ナガレカタビロアメンボ
(VU) オヨギカタビロアメンボ
コミズギワカメムシ
ウスイロミズギワカメムシ
(NT) ナガミズムシ
クロチビミズムシ
ハイイロチビミズムシ
チビミズムシ
コミズムシ
(NT)(ウ) コオイムシ
タイコウチ
ミズカマキリ
コマツモムシ
マツモムシ
ヘビトンボ
セグロトビケラ
コガタシマトビケラ
ウルマーシマトビケラ
フチグロユスリカ
キソガワフユユスリカ
ハイイロゲンゴロウ
チビゲンゴロウ
ツブゲンゴロウ
ルイスツブゲンゴロウ
コガシラミズムシ
コツブゲンゴロウ
タマガムシ
セマルガムシ
チビヒラタガムシ
キイロヒラタガムシ
マルヒラタガムシ
ルイスヒラタガムシ
コガムシ
シジミガムシ
マメガムシ
ヒメガムシ
アシナガミゾドロムシ

※平成18年度までの河川水辺の国勢調査で確認された種です。

(注)調査区間では、魚:52種、植物:592種、鳥:106種、小動物:25種(両生類(4)・爬虫類(8)・哺乳類(13))、クモ・昆虫:1321種、底生動物:254種の合計2350種が確認されていますが、上のリストには種名がはっきりしていて、和名のついている種を合計2082種掲載しました。なお、科レベル・属レベル・学名だけ・和名の無いものはこのリストからはぶいています。

河川水辺の国勢調査を二巡行なった結果を掲載しています

調査方法

魚	主として投網とタモ網。調査地点の状況に応じて刺網、延縄、魚カゴ、カニカゴなど
植　物	植生分布調査（既往の植生図と航空写真などにより植生区分図を作成し、調査を実施）と植物相調査（目視によって植物の種を確認する方法）
鳥	ラインセンサス法（あらかじめ設定しておいたルート上を歩いて、一定の範囲内に出現する鳥類を姿や鳴き声により識別して種別個体数を数える）による任意観察
小動物（両生類）（は虫類）（ほ乳類）	捕獲、目撃、聞き取り、フィールドサイン法（調査対象地域を詳細に観察して糞、足跡、食痕、巣、爪痕、モグラ塚、坑道等の生息痕跡を発見し、生息する動物種を確認する）
陸上昆虫	スウィーピング法（木や草などを捕虫網ですくい取る）、ライトトラップ法（灯火に集まってくる昆虫を採集）、ピットフォールトラップ法（容器にエサを入れ地面に埋めて落下した昆虫を採集）、任意採集法（素手や捕虫網などを用いて直接採集）
底生動物	コドラート（観察するときに使用する枠のこと）やサーバーネット（河川の底に設置、生物を採集する角形ネット）を用いた定量採集（一定範囲の生物の量を調べる）とハンドネットを用いた定性採集（いろいろな場所でどんな生物がいるか調べる）

国土交通省　近畿地方整備局
大和川河川事務所

〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3丁目8番33号
TEL 072-971-1381（代）

2008.3／10,000